

2級学科試験問題

☐ が正解の選択肢

問題 5

公的年金に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 国民年金の第1号被保険者は、日本国内に住所を有する20歳以上60歳未満の自営業者や学生などのうち、日本国籍を有する者のみが該当する。
2. 老齢厚生年金の受給権者が老齢厚生年金の繰下げ支給の申出をする場合、老齢基礎年金の繰下げ支給の申出を同時に行わなければならない。
3. 老齢厚生年金の額に加給年金額が加算されるためには、原則として、厚生年金保険の被保険者期間が10年以上であり、かつ、その受給権者によって生計を維持されている一定の要件を満たす配偶者または子がいる必要がある。
4. 産前産後休業を取得している厚生年金保険の被保険者の厚生年金保険料は、所定の手続きにより、被保険者負担分と事業主負担分がいずれも免除される。

TAC 2級テキスト

(2) 育児休業中の保険料免除 頻出！

育児休業中の保険料は、**子が3歳になるまで**申請により本人負担分・事業主負担分ともに免除されます。なお、**年金額の計算では保険料納付済期間**となります。

また、子が3歳になるまで、勤務時間を短縮するなどして働いたことで、標準報酬月額が低下し、休業前よりも低い標準報酬に基づき保険料を納付した場合でも、将来の年金受取額が低下しないように、年金額の算定上は育児休業前の標準報酬で保険料が納付されたものとみなされます。

なお、産休期間（原則産前6週間、産後8週間）の保険料についても、申請により本人および事業主負担分ともに免除されます。